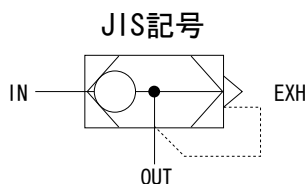
取扱説明書

クイックエキゾーストバルブ

QV2 シリーズ

JIS記号

安全にご使用いただくために

ご使用いただく上でまちがった取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながる場合があります。
事故発生がないようにするためにも必ず取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、正しくお使いください。
尚、不明な点がございましたら、弊社へお問合せください。

株式会社 TAIYO
〒533-0002
大阪府大阪市東淀川区北江口1-1-1
URL:http://www.taiyo-ltd.co.jp

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO 4414※1)、JIS B 8370※2)およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

⚠ 危険：	切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 警告：	取り扱いを誤ったときに、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意：	取り扱いを誤ったときに、人が傷害を負う危険性が想定されるとき、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

※1)ISO 4414：Pneumatic fluid power Recommendations for the application of equipment to transmission control systems
※2)JIS B 8370：空気圧システム通則

⚠ 警告

- 空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
- 充分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。

圧縮空気は取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、充分な知識と経験を持った人が行ってください。

- 安全を確認するまでは、機械・装置の取り扱い、機器の取り外しを絶対に行わないでください。

1)機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。

2)機器を取り外す時は、上述の安全処置が採られていることを確認し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。

3)機械・装置の再起動を行う場合は飛び出し防止の処置を確認してから行ってください。

- 仕様に適合した環境でご使用ください。

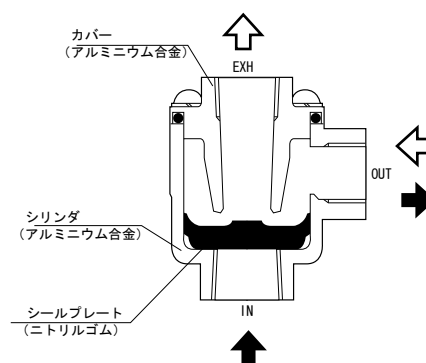
原子力・鉄道・航空・車両・医療機器・飲料や食料に触れる機器・娯楽機器・緊急遮断装置・プレス用安全装置・ブレーキ回路・安全機器など人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途や屋外で使用される場合は当社にご連絡くださるようにお願いいたします。

仕様

項目 ＼ 形式	QV2−8		QV2−10		QV2−15		QV2−20		QV2−25	
接続口径	IN OUT	EXH	IN OUT	EXH	IN OUT	EXH	IN OUT	EXH	IN OUT	EXH
	Rc1/4	Rc3/8	Rc3/8	Rc3/8	Rc1/2	Rc1/2	Rc3/4	Rc1	Rc1	Rc1
有効断面積 mm^2	IN ↓ OUT	OUT ↓ EXH	IN ↓ OUT	OUT ↓ EXH	IN ↓ OUT	OUT ↓ EXH	IN ↓ OUT	OUT ↓ EXH	IN ↓ OUT	OUT ↓ EXH
	32	34	47	53	70	110	110	210	120	230
使用流体	空　気									
最高使用圧力	1MPa									
使用温度範囲	＋5～＋60℃									
質量 g	140		140		320		800		800	

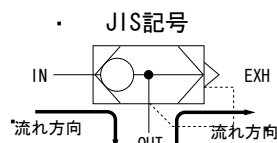
動作原理

IN側から入った圧縮空気はシールプレートを押し、押されたシールプレートはカバーとの間でシールし、圧縮空気はOUT側に流れます。

OUT側から入った圧縮空気はシールプレートを押し、押されたシールプレートはシリンダとの間でシールし、圧縮空気はEXH側に流れます。

取付けに関する注意事項

 危険

・本体にＩＮ、ＯＵＴを刻印しております。取付けの際は十分に方向を確認してください。方向を間違えますと機器類が予期せぬ動きをし危険です。

・　JIS記号

・エアー配管する場合は、管および空圧継手に０．３ＭＰａ程度の圧縮空気を吹き込んで内部をよく清掃した後、接続してください。
・極端に配管内径が細く長かったり、方向制御弁のオリフィスが小さいと切替弁からＱＶ２までの配管内のエアーを排出するのに時間を要し、ＱＶ２が正常に作動しないことがありますので、ご注意ください。
・排気口から急激に多量の空気が排出されるため、排気音が著しく大きくなることがあります。このような場合には、別途消音器（サイレンサ）等をお取付ください。